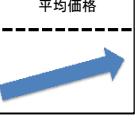
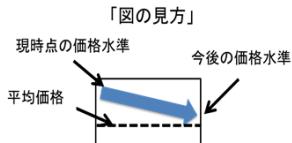
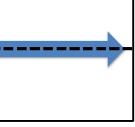
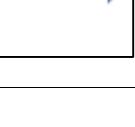
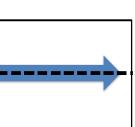
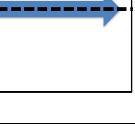
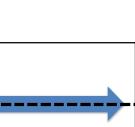
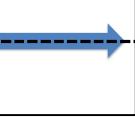
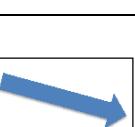
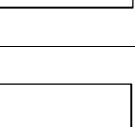
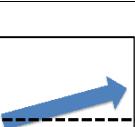
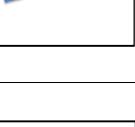
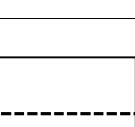
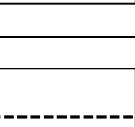
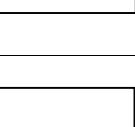
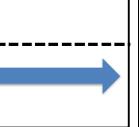
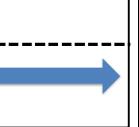
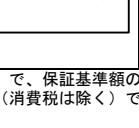


野菜の需給・価格動向レポート(平成27年12月7日版)

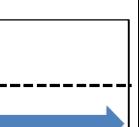
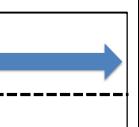
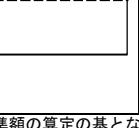
1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	11月の価格情報			12月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月中旬までの見通し				
		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額									
		上旬	中旬	下旬							
葉茎菜類	キャベツ	72.93 (144%)	105 (104%)	76 (74%)	54	72.93	・入荷量：12,961t ・主産地：愛知（42）、千葉（36）		<p>「図の見方」</p>  <p>現時点の価格水準 平均価格</p> <p>今後の価格水準</p>		
		76.91 (137%)	105 (94%)	72 (69%)	53	76.91	・入荷量：3,840t ・主産地：愛知（47）、兵庫（10）、茨城（7）、大阪（7）				
	たまねぎ	76.15 (81%)	62 (85%)	65 (83%)	63	76.15	・入荷量：10,254t ・主産地：北海道（94）				
		76.15 (89%)	68 (88%)	67 (85%)	65	76.15	・入荷量：3,672t ・主産地：北海道（74）、兵庫（25）				
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	240.04 (92%)	221 (95%)	227 (96%)	230	240.04	・入荷量：6,760t ・主産地：千葉（25）、茨城（20）、埼玉（18）、群馬（13）、栃木（8）、秋田（2）				
		467.01 (112%)	522 (86%)	400 (75%)	349	467.01	・入荷量：1,320t ・主産地：徳島（23）、三重（16）、奈良（16）、高知（13）、香川（11）、大阪（7）				
	はくさい	40.32 (139%)	56 (109%)	44 (84%)	34	40.32	・入荷量：14,553t ・主産地：茨城（93）				
		55.95 (114%)	64 (91%)	51 (86%)	48	55.95	・入荷量：5,374t ・主産地：茨城（29）、和歌山（15）、愛知（10）、岡山（10）、熊本（9）、大分（8）、兵庫（7）				
	ほうれんそう	385.11 (88%)	338 (72%)	279 (72%)	276	385.11	・入荷量：1,629t ・主産地：群馬（36）、茨城（18）、千葉（17）、埼玉（17）				
		461.74 (87%)	404 (65%)	301 (70%)	321	461.74	・入荷量：587t ・主産地：徳島（39）、福岡（30）、岐阜（12）、群馬（11）				
	レタス (結球)	143.63 (74%)	107 (55%)	79 (74%)	106	143.63	・入荷量：7,396t ・主産地：静岡（26）、兵庫（15）、長崎（13）、茨城（12）、香川（9）、熊本（4）				
		154.61 (74%)	115 (59%)	91 (78%)	120	154.61	・入荷量：1,479t ・主産地：兵庫（45）、徳島（21）、長崎（13）、香川（6）				
果菜類	きゅうり	262.75 (88%)	232 (95%)	249 (101%)	375	370.98	・入荷量：4,491t ・主産地：宮崎（37）、千葉（20）、高知（19）、埼玉（11）				
		350.33 (79%)	224 (79%)	226 (101%)	355	350.33	・入荷量：963t ・主産地：宮崎（48）、高知（26）、徳島（13）				
	トマト (大玉)	315.83 (97%)	307 (78%)	246 (64%)	223	349.23	・入荷量：4,745t ・主産地：熊本（45）、愛知（18）、栃木（11）、千葉（10）				
		326.61 (88%)	298 (73%)	246 (70%)	228	326.61	・入荷量：963t ・主産地：熊本（70）、愛知（9）				
	なす	301.00 (96%)	289 (104%)	313 (85%)	330	389.03	・入荷量：1,672t ・主産地：高知（62）、福岡（17）				
		397.74 (103%)	272 (117%)	308 (86%)	344	397.74	・入荷量：321t ・主産地：高知（43）、熊本（28）、福岡（17）、岡山（9）				
	ピーマン	378.83 (77%)	293 (67%)	252 (67%)	252	378.83	・入荷量：1,844t ・主産地：宮崎（37）、茨城（27）、高知（19）、鹿児島（16）				
		371.29 (60%)	224 (58%)	214 (64%)	239	371.29	・入荷量：395t ・主産地：宮崎（52）、高知（22）、鹿児島（10）				
根菜類	だいこん	67.55 (98%)	66 (73%)	49 (67%)	45	67.55	・入荷量：13,554t ・主産地：千葉（49）、神奈川（41）				
		76.48 (106%)	81 (72%)	55 (58%)	44	76.48	・入荷量：3,845t ・主産地：和歌山（27）、長崎（25）、鹿児島（19）、徳島（16）				
	にんじん	105.86 (106%)	112 (117%)	124 (103%)	109	105.86	・入荷量：8,840t ・主産地：千葉（84）				
		104.49 (112%)	117 (121%)	126 (105%)	110	104.49	・入荷量：2,626t ・主産地：長崎（66）、鳥取（12）、鹿児島（11）、宮崎（6）				

種類	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	11月の価格情報			12月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月中旬までの見通し	「図の見方」				
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額										
		上旬	中旬	下旬								
いも類	さといも	220.97	227 (103%)	233 (105%)	235 (106%)	220.97	・入荷量: 1,915t ・主産地: 埼玉 (56)、千葉 (20)		埼玉産は、8月の干ばつの影響で現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は年末に向け出荷の増加が見込まれることから平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育は順調だったことから前進出荷傾向であったが、現在はほ場により生育のバラツキが見られることから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。 埼玉産及び千葉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少ないと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。			
		217.56	286 (131%)	305 (140%)	298 (137%)	217.56	・入荷量: 476t ・主産地: 愛媛 (40)、福井 (23)、宮崎 (14)、熊本 (8)、大分 (4)、輸入 (4)、鹿児島 (3)					
	ばれいしょ	96.99	92 (95%)	90 (93%)	88 (91%)	96.99	・入荷量: 8,368t ・主産地: 北海道 (82)		北海道産が、生育期の天候に恵まれ作柄も良好で、豊作傾向となっており、平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。			
		96.99	90 (93%)	89 (92%)	89 (92%)	96.99	・入荷量: 3,267t ・主産地: 北海道 (83)、長崎 (17)					

注: 1 平均価格は、過去6年間の中卸市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。
 5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込、近畿は前年実績。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。
 8 きゅうり、トマト、なすの11月の平均価格は、上段が上旬、下段は下旬の価格である。

種類	(参考)過去5年 平均価格	11月の価格情報			12月 (参考)過去5年 平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月中旬までの見通し	「図の見方」				
		東京・大阪市場の 旬別価格										
		上旬	中旬	下旬								
洋菜類	ブロッコリー	282.01	401 (142%)	257 (91%)	182 (65%)	313.68	・入荷量: 2,386t ・主産地: 埼玉 (29)、愛知 (24)、群馬 (13)、香川 (11)、千葉 (3)		埼玉産は、11月中旬ごろの高温の影響で前進出荷傾向で推移していたが、最近の気温低下に伴い、玉伸びが悪いことから、現在は平年よりやや少なめの出荷となっている。今後は生育の回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。愛知産は、生育は順調で前進出荷傾向となっており、特段の病害の発生も見られないことから、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれ、最近の気温高もあって生育は順調に進んでいることから、今後も引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 埼玉産、愛知産及び群馬産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
		359.34	428 (119%)	320 (89%)	251 (70%)	376.05	・入荷量: 599t ・主産地: 徳島 (30)、鳥取 (16)、長崎 (13)、香川 (7)、和歌山 (6)					
	ごぼう	210.20	271 (129%)	272 (129%)	285 (136%)	255.27	・入荷量: 1,603t ・主産地: 青森 (75)、茨城 (12)、熊本 (4)、北海道 (3)		青森産は、これまでの天候に恵まれたほ場から、9月の天候不順や台風から変わった低気圧の影響を受けたほ場からの出荷へと切り替わりが本格化する見込み。天候不順や低気圧の影響を受けたほ場では、全般的に細物で短い傾向となっていることから、引き続き平年よりやや少ない出荷の見込み。 青森産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
		157.67	178 (113%)	185 (117%)	200 (127%)	184.81	・入荷量: 1,079t ・主産地: 茨城 (33)、青森 (29)、北海道 (21)、千葉 (5)、輸入 (5)					

注: 1 平均価格は、過去6年間の中卸市場の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別価格は、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景色は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査	1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,400g(平年比104%)、購入金額は、2,170円(同114%)となつた。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)			主要野菜の小売価格(東京都区部) (単位: kg/円、%)			
		過去5年 平均		平成26年				
		購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	平年比		
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	102	1,755	107
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	103	1,761	106
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	101	1,939	107
4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	98	2,070	112
5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	98	2,257	118
6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	100	2,157	113
7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	99	1,966	113
8月	4,315	1,731	4,275	1,846	4,240	98	1,998	115
9月	4,688	1,844	4,745	2,035	4,836	103	2,143	116
10月	5,191	1,902	5,455	1,973	5,400	104	2,170	114
11月	4,990	1,700	5,291	1,704				
12月	5,146	1,927	5,233	1,977				

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
 注: 平年は、過去5年平均(平成22~26年)。
 2 平成27年11月の値は、11月中旬の速報値。

3 野菜の輸出入動向

貿易統計	10月の野菜の輸入量は、生鮮野菜が、6万4千トン(前年同月比98%)、加工野菜が14万1千トン(同103%)、野菜全体では、20万5千トン(同102%)となつた。このうち、中国産野菜合計は12万トン(同101%)のとなつた。 生鮮野菜は前年をわずかに下回つたものの、加工野菜で、前年を上回つたことから、野菜全体では前年をわずかに上回つた。 また、輸出量は、生鮮野菜が、4,459トン(同53%)、加工野菜が、2,203トン(同121%)、野菜全体では6,662トン(同25%)となつた。生鮮野菜及び加工野菜で前年を上回つたことから、野菜全体では前年を大幅に上回つた。	野菜の輸入数量			野菜の輸出数量 (単位: トン、%)			
		平成25年						
		区分	前年比					
生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	63,894	98	711,826	93
加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	141,091	103	1,454,133	96
野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99				